

あわじ荘だより

花見に行きました♪



車窓からではありましたが、満開の桜をみることができとても喜んでおられました。

「考えることを諦めない!!」

あわじ荘 所長 米田 知弘

「人間は考える葦(あし)である」という言葉を、存じの方も多いと思います。17世紀にフランスの哲学者であるパスカルが遺した言葉です。人間は、大きな宇宙から見たら1本の葦のように細く、少しの風にも簡単にひく弱いものですが、ただそれは「思考する」ことが出来る存在であり、偉大である、ということの意味した言葉とも言われています。

3年以上にわたるコロナ禍は、社会経済活動の停滞をもたらし、一人ひとりの生活においても「不自由さ」を感じるようになりました。家族、友人と会えない、行きたいところに行けない等々。こうした不自由さにより、特に高齢者においては活動量の低下、筋肉量の低下(サルコペニア)、そして心身の活力の低下(フレイル)につながる方が一定数いらっしゃったように感じています。また、職員においても同様に不自由さを感じつつ、一方では在宅勤務などの対応がとれない対人援助サービスという職業柄、シレンマを抱えた状態で業務を行っていた方も多かったのではないのでしょうか。

人は行動が抑制され続けると思考まで抑制されたように感じ、最後には思考することを諦めてしまう、そんな危機感を感じている私は、コロナ対応が次のフェーズに移行するタイミングで、自分への戒めも含めて「考える」ことの重要性について改めて考えてみたいと思います。

まず、公私問わず日常の行動を振り返り、「〇〇したい」「□□だと思つた」といったことについて改めて考えてみてください。

次にその願望・意見に「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どのようにつ」などと5W1Hを使って肉付けしてください。

いかがですか。私もそうなのですが、願望・意見は考えていても、その具体化がないために行動に活かされていない、いわゆる思いっ放し、言いっ放しになっていませんか。そして特にルーティンにおいては慣性・慣性で行動している、いわゆる「やりっ放し」になっていませんか。

相手やルールはなかなか変えられませんが、場合によってはこれを変えるための努力も必要ですが、自分の思考を変えることは常に自由です。そして、「心が変われば行動が変わる」という言葉もあるように、思考変容が行動変容につながります。

またまた医療・福祉現場では制約もありますが、そのような中でも、私自身、「考える葦」として、まず頭からフル回転させていきたいと思っておりますので、今年度もよろしくお願ひ致します。

北の街のご様子

kitano-machikara



選挙へ外出。「投票しました」



歯ブラシ立てに絵を描きました。「ほら見てきれいにできたよ」



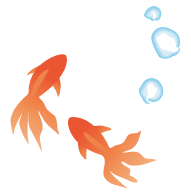
花をいけました。「上手にできたかしら？」



園芸作業。「かわいい花やね。うまく植えられるかな」

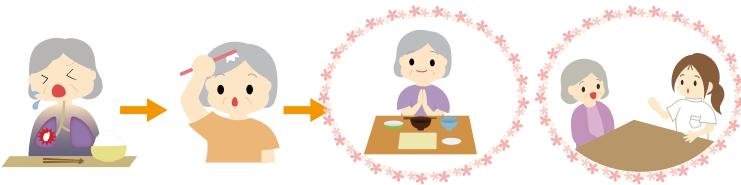


お誕生日会。おめでとうございます。「上手に写してや！」



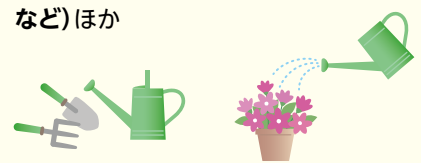
重点テーマ 「口腔ケアの充実」

あわじ荘では、おいしいお食事と食後の口腔内の清潔が、元気で暮らしていただく肝であるとの考えから、口腔ケアの充実を今年度の重点テーマとして①適切なお食事の提供、②状態にあわせた歯ブラシの使用、③食後の歯磨きの実施、に取り組んでいきます。



コロナ禍でなかなか実施できませんでしたが、以下の支援も活動的に行っていきます。

- ◆趣味嗜好に応じた活動の支援
- ◆居住空間のひとつであるお庭のお手入れ支援
- ◆外出支援（お買い物、選挙、ドライブなど）ほか



南の街のご様子

minamino-machikara



将棋中。良い手を考えています。



中庭にて園芸作業。



塗り絵を上手に塗っています。



東京音頭。リズムに合わせて踊りましょう。

ノーリフティングケア(持ち上げない介護)の取り組みについて



目的

あわじ荘では利用者様が安全にそして安心してケアを受けられるようにするとともに職員の誰もが安心して安全に働ける職場をつくることを目的にノーリフティングケアに取り組んでいます。
前号(第74号)に引き続き今回はスタンディングリフトと床走行リフトの紹介をします。

特徴

- ・立ち上がる感覚の継続(スタンディングリフト)
- ・安全に便座へ移乗(スタンディングリフト)
- ・トイレで排泄できる喜び(スタンディングリフト)
- ・立ち上がり難い人でも安全にベッド⇄車いす間の移乗が可能(床走行リフト)
- ・介助される側の身体の緊張が軽減
- ・介助者の腰への負担を軽減
- ・介助者の力の有無に関わらず誰もが同じケアを提供

スタンディングリフト



床走行リフト



使用方法

スタンディングリフト



①セッティング



②立ち上がりをサポート



③トイレの便座へ移乗

床走行リフト



①スリングシートをかける



②吊り上げる



③ベッド⇄車いすへ移乗する

施設内研修 ～ノーリフティングケアについて～

あわじ荘はひょうごノーリフティングケアモデル認定施設であり、毎月ノーリフティングケアについての研修を実施しています。教育担当を中心に全職員がノーリフティングケアを身に付け実践に活かせるように練習を行っています。今後技術チェック等を重ね、計画的に研修を進めていき、機器・用具使用の習熟・実践できる職員数割合100%を目指して取り組んでいきます。



感染症法上の位置づけが5類感染症になりましたが…



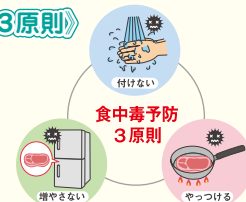
令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザと同じく、感染症法上5類になりました。3年もの長きにわたり制限されていた生活が、世間では元に戻ろうとしています。ただ、感染すると重度化するリスクの高い高齢者の方が多数生活するあわじ荘では、すぐに元の生活に戻ることができません。行政よりも、高齢者施設内においては、今までと大きく変化なく、感染対策を継続するように通達がありました。
利用者・家族様には、まだまだ不自由をおかけしますが、何卒、ご理解頂けるようお願いいたします。
6月には、ほとんどの利用者様が6回目の新型コロナワクチン接種を行いました(職員も同様です)。
ワクチン接種と並行し、手洗いや換気、マスク着用など感染対策の基本を遵守することで、利用者様の安全な生活を守るように注意して支援します。今後ともご協力をよろしく願っています。

食中毒に気をつけよう!!

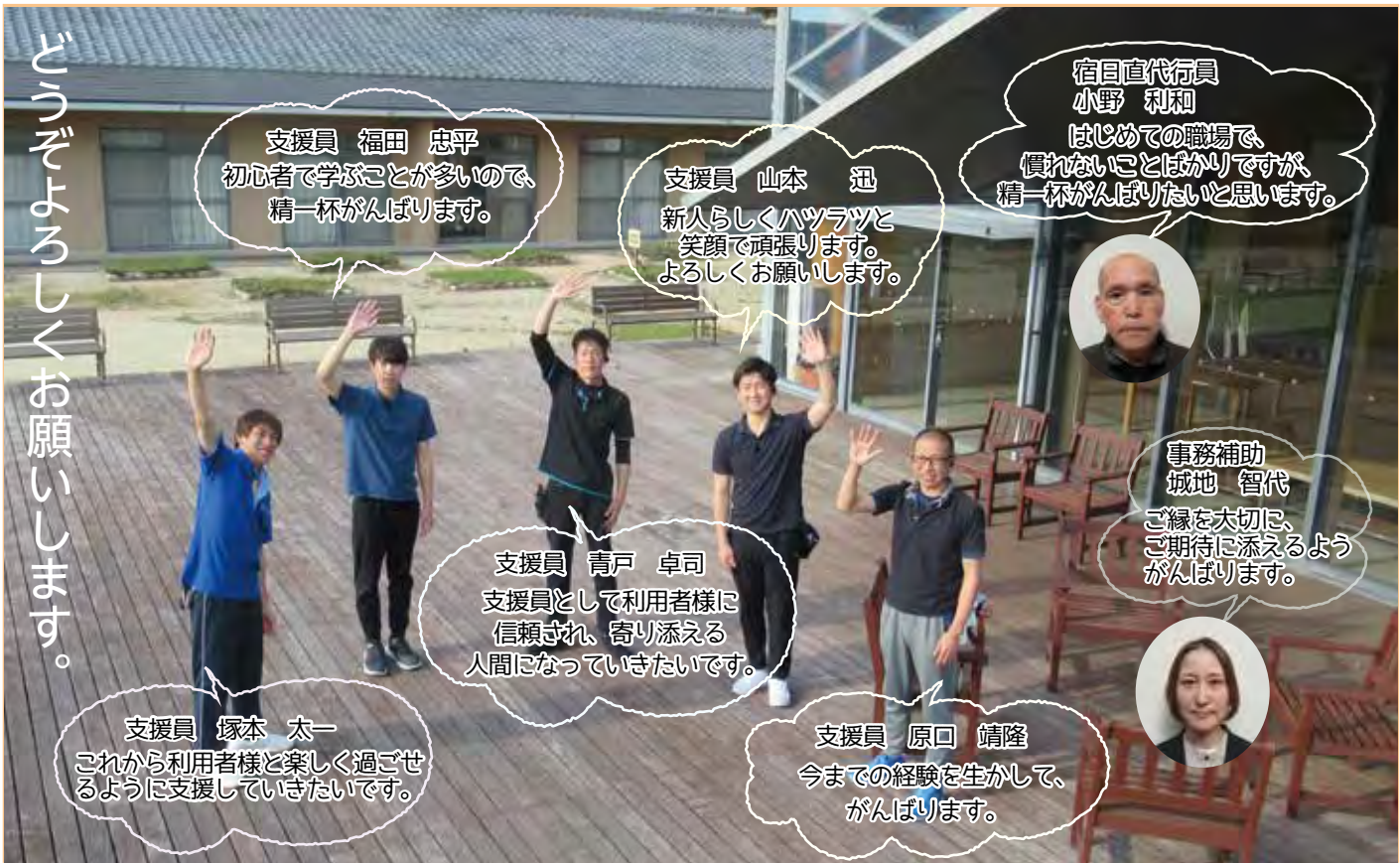
食中毒とは、食中毒を起こすもととなる細菌やウイルス、有毒な物質が付いた食べ物を食べることによって、下痢や腹痛、発熱、嘔吐などの症状が出る病気のことです。
これから気温が上昇し、湿度が高くなる時期には、特に細菌による食中毒事故が発生しやすいので注意しましょう。

《細菌性食中毒を防ぐための3原則》

- ①細菌を食べ物に「つけない」
- ②食べ物に付着した細菌を「増やさない」
- ③食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける」



新規職員紹介



SNS
あわじ荘 ホームページ
フェイスブック、
インスタグラムも
是非ご覧ください。

あわじ荘 居宅サービス事業

地域でお暮らしの高齢者の方に対しては、
以下のサービスを行っています。

- ◇あわじ荘短期入所生活介護
- ◇あわじ荘居宅介護支援
- ◇地域密着型通所介護
「リハビリデイスマイル」
- ◇認知症対応型通所介護
「ほがらかデイサービス」

生活にご不便を感じておられる方がおられましたら、
いつでもご相談ください。

1泊2食付
7,500円~
※65歳以上(平日)

おんせんと
うまいもんで
おもてなし

浜坂温泉保養荘
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
☎0796-82-3645

編集後記

「あわじ荘だより」第75号を発刊することができましたのでご覧ください。
また、SNSでもあわじ荘の活動等を紹介しています。ぜひこの機会に上記QR
コードから一度のぞいてみてください。

本格的な夏をひかえて、くれぐれもご自愛ください。

編集担当より

発行／社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団あわじ荘
〒656-1727 兵庫県淡路市野島貴船229-1
TEL 0799-82-1950 FAX 0799-82-1754
E-mail info_awaji@hwc.or.jp
ホームページ <https://www.hwc.or.jp/awaji/>

※写真の掲載については、ご本人の同意を得ております。